

KOUJAKU 2022



上津役校区第二次

ふくしのまちづくり計画

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



2026

ごあいさつ

上津役校区の福祉活動には日頃よりご支援ご協力をたまわり厚く御礼申し上げます。

上津役校区社会福祉協議会は昭和49年5月に設立され48年目を迎えます。この間校区の皆さまのご理解そして、校区社協先達諸氏のご尽力で当校区の福祉の安全・安心のシステムは確立し、快適に生活できる地域の一つであると思います。

平成28年度から「小地域福祉活動第一次計画（あなたに伝えたい！第一次 上津役思いやりプラン）」を指針として、「ふれあいネットワーク活動」に努め励んでおりますが、福祉環境の変化に伴い、見直しを兼ねて第二次計画を策定することといたしました。

第二次計画の策定に当たっては、2025年問題、その先の2040年問題も考慮に入れ、介護保険制度とのつながりを意識しました。事前準備として北九州市社会福祉協議会（八幡西区社会福祉協議会）のご指導で「ふくしのまちづくり講座」を受講し、地域福祉概念の再確認及び、現在の福祉環境から2040年に向かう福祉課題を推測すべく学習しました。

九州大谷短期大学福祉学科長 中村秀一教授及び、認定NPO法人抱樸 地域包括支援事業部 松本麻子保健師の講演内容の一部を第二次計画に取り入れました。要点を〈重点実施項目3・ふれあいネットワーク活動の再構築の1、課題背景及び現状〉欄に記述しました。近い将来の地域福祉のあり方に示唆に富む内容であり是非、お目とおしく下さい。

第二次計画には、「ふれあいネットワーク活動（見守り・話し合い・助け合い活動）」は、まさしく地域の「福祉のセンサー機能」そのものを包含した高齢者や障害のある方をはじめ、(*1)「福祉の困窮者」を支援する活動であることから、2025年・2040年問題で懸念される核家族増大に伴う独居老人等が直面する困窮課題解決のために介護保険制度をはじめとする各制度につなげられるよう「家族機能の社会化」を目指し、次の活動を取入れました。

- ①「福祉のセンサー」として、向こう三軒両隣、知人や地縁団体等をつうじて、埋もれている(*1)「福祉の困窮者」の発見に努め励む。
- ②「福祉のセンサー」の機能向上のため研修や学習の場を継続開催する。

なお、「小地域福祉活動第二次計画」は、上津役校区においては「あなたに伝えたい！第二次 上津役思いやりプラン」と呼ぶことといたします。ご承知をお願いいたします。

上津役校区住民の皆様には、主旨ご理解くださり、ご自身の生活の周辺で(*1)「福祉の困窮者」の発見にまた、福祉活動に絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月22日

(*1)「福祉の困窮者」：3頁注記参照ください。

上津役校区社会福祉協議会
ふれあいネットワーク部会
会長 久保田 雅晴

第1章 上津役校区の現状

1. 地域の状況

(1) 上津役校区の基本データ〈年代別人口〉

市 区 校区 丁別	世帯数 (世帯)	人口 (人)	令和3年9月30日現在住民基本台帳による									
			14歳以下		15歳～64歳		65歳以上		65歳～74歳		75歳以上	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
北九州市	483,492	937,975	113,665	12.1	532,567	56.8	291,740	31.1	139,343	14.9	152,397	16.2
八幡西区	124,181	250,677	32,090	12.8	143,378	57.2	75,208	30.0	36,231	14.5	38,977	15.5
上津役校区	5,636	12,086	1,678	13.9	6,683	55.3	3,724	30.8	1,712	14.2	2,012	16.6
市瀬一丁目	563	1,267	237	18.7	721	56.9	309	24.4	161	12.7	148	11.7
市瀬二丁目	274	562	83	14.8	322	57.3	157	27.9	83	14.8	74	13.2
市瀬三丁目	176	349	38	10.9	191	54.7	120	34.4	51	14.6	69	19.8
上の原一丁目	314	642	68	10.6	318	49.5	256	39.9	104	16.2	152	23.7
上の原二丁目	367	776	108	13.9	404	52.1	264	34.0	126	16.2	138	17.8
上の原三丁目	483	1,213	209	17.2	787	64.9	217	17.9	106	8.7	111	9.2
上の原四丁目	541	1,163	131	11.3	612	52.6	420	36.1	212	18.2	208	17.9
大字上上津役	1	2	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0	-	0.0
上上津役一丁目	417	874	117	13.4	473	54.1	284	32.5	129	14.8	155	17.7
上上津役二丁目	626	1,368	178	13.0	812	59.4	378	27.6	159	11.6	219	16.0
上上津役三丁目	488	950	111	11.7	495	52.1	344	36.2	157	16.5	187	19.7
上上津役四丁目	225	458	64	13.9	257	56.0	138	30.1	67	14.7	71	15.4
上上津役五丁目	238	534	75	13.9	284	53.2	175	32.8	77	14.5	98	18.3
上上津役六丁目	168	355	34	9.6	171	48.2	150	42.3	62	17.5	88	24.8
中の原一丁目	228	447	48	10.7	223	49.9	176	39.4	75	16.8	101	22.6
中の原二丁目	243	483	62	12.8	226	46.8	195	40.4	67	13.9	128	26.5
中の原三丁目	284	643	115	17.9	387	60.2	141	21.9	76	11.8	65	10.1

(2) 上津役校区の基本データ〈各自治区別高齢者人口と高齢化率〉

自治区会	平成27年(2015年)一次計画策定時			令和3年(2021年)二次計画策定時		
	人口 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率 (%)	人口 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率 (%)
市瀬	1,945	531	27.3	2,178	586	26.9
上の原	4,017	1,064	26.5	3,794	1,157	30.5
小野田	1,100	322	29.3	950	344	36.2
中の原	1,558	517	33.2	1,573	512	32.5
足水	1,258	434	34.5	1,349	463	33.7
馬場	2,275	605	26.6	2,242	662	29.5
合計	12,153	3,473	28.6	12,086	3,724	30.8

第2章

計画体系

1 基本理念

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

上津役校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できる「ふれあい」「支え合い」「助け合い」のまちにしたいと願っています。そこで、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るため「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を小地域福祉活動計画の基本理念として、福祉活動に努め励みます。

2 基本目標

■ 基本目標1 「楽しく学び 健康で明るく安心な地域にしましょう」

住民一人ひとりに地域福祉活動を身近なものと感じてもらうため、広報紙・上津役福祉だよりや市社協ホームページ等を活用し啓発を行うとともに、子どもから大人まで参加できるさまざまな学びの機会をつくりこれからの地域福祉を担う人材を育てていきます。また、高齢者がいつまでも健康で生き生きとした生活を送れるよう、健康づくりや介護予防事業、認知症予防事業に取り組みます。

■ 基本目標2 「ふれあいの輪を広げ 地域の絆を深めましょう」

子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しく交流できるふれあいの場づくりや行事などを企画、実施します。高齢者の居場所づくりとしてまた、誰でも集って話しあえる場としてサロンを開催中ですが、その内容の向上を図り、地域の「福祉の困窮者」の発見や福祉協力員発掘の情報交換の場として活用します。

■ 基本目標3 「思いやりの心で支え合おう」

みんなが安心して暮らせるよう、公私の社会福祉関係者と連携し、住民の主体的参加による「ふれあいネットワーク活動」で支援の輪をつくり、支え合いの地域福祉活動を進めます。2025年・2040年問題を想定し、(*1)「福祉の困窮者」を一人残らず介護保険制度ほか各制度につなげられるよう地域の福祉関係者は「福祉のセンサー」としてその発見に努め励みます。また、生活環境の変化を感じ取るための学習研鑽を継続し「福祉の高機能センサー」となるべく学習を続けます。

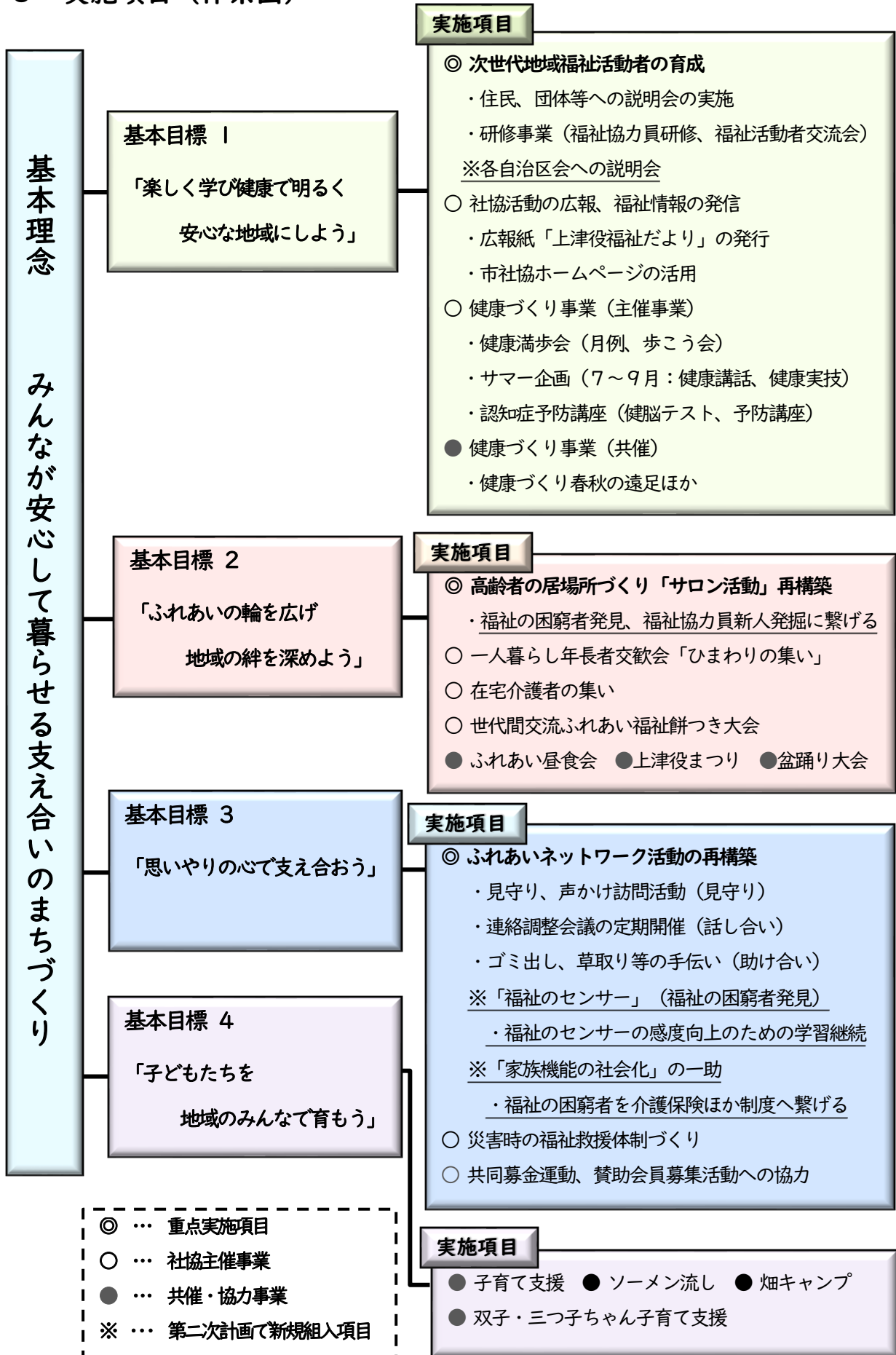
■ 基本目標4 「子どもたちを地域のみんなで育もう」

将来の地域社会を担っていく子どもたちが、さまざまな喜びや感動の体験をとおして、伸びのびと健やかに成長し、生まれ育った地域への愛着や感謝の心が持てるよう、安全で安心な学びや、遊びの環境を整え、地域のみんなで見守り、育てていきます。

注記 (*1)「福祉の困窮者」

支援や見守りの対象者は「生活弱者」「要支援者」「生活困窮者」「保護対象者」「障害のある方」等々ですが「制度へつなげたい方」も一括して「福祉の困窮者」としました。

3 実施項目 (体系図)



4 重点実施項目

重点実施項目 I		次世代地域福祉活動者の育成					
1 課題背景及び現状							
<p>上津役校区社協では平成6年から「ふれあいネットワーク活動」による地域の見守り、話し合い、助け合い活動を推進している。民生・児童委員、自治区会関係者等地縁団体との連携により、高齢者や障害のある方の支援を始め、子どもの健全育成や地域の活性化を目的とする様々な事業に取り組んでいる。しかし、地域との関わりを持ちたがらない住民の増加や、地域活動の基盤組織である自治区会への加入率低下など、人と人との繋がりが希薄化する状況下、活動の中心を担う福祉協力員の新人発掘が困難になる等課題が生じている。また、現任福祉協力員の高齢化も進む一方であり、ますます多様化する福祉ニーズへの対応が困難になってきつつある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>地域住民一人ひとりに地域福祉活動を身近なものと感じてもらうため、広報紙やホームページを活用し、社協活動のPRを行うとともに現役、若手世代を含む住民や様々な地縁団体の活動者などを対象とした、説明会や研修会を開催する。また、参加しやすい、参加したくなる活動や事業を創意工夫する。活動者の負担感を軽減することで「出来る人が、出来ることを、少しずつ…」のお互いに協力し合える地域風土を醸成し次世代地域福祉活動者を発掘、育成する。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	備考
社協活動、行事のPR強化（広報紙、ホームページの活用）	自治区会 市・区社協						様々な媒体を活用し発信する
事業、活動内容の見直し、改善	自治区会 まちづくり協						既存の行事を再構築参加しやすくする
説明会の実施（新規参加者の加入促進）	自治区会 学校／PTA 市民センター						資料等準備 説明会
連絡調整会議 上津役会議	社協構成団体 関係機関 関係福祉施設 連携支援センター						情報交換し 学びと共感を深め合う チーム作り
活動方法の見直し、改革（連調会利用、他自治区ふれネットの意見聴取）	連絡調整会議						P D C & A

重点実施項目 2		居場所づくり・サロン活動内容の再構築					
1 課題背景及び現状							
<p>上津役校区では近年、マンションや新興住宅地の開発等で若年層人口が若干増えてきてはいるものの、依然として北九州市の平均よりも高齢化率は高く、特に古くからの住宅地や集合住宅では 50%にせまる高齢化率となり、独居や高齢者のみ世帯、昼間独居世帯が急増。また、自ら地域との交流を絶つ人や閉じこもりがちな人も増えている。福祉協力員や民生委員の見守り、声かけ活動の際にも「話し相手がいない」「寂しい」「行く所がなくずっと家にいる」といった声も多くなっており、住民同士のつながりやふれあいが一層求められる状況となっている。一方で、気の合う仲間と趣味の活動を楽しむグループも多く存在しているが、その情報が発信されておらず、サロン活動の参加者が固定している状況にある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>自治区毎に身近な居場所として活用できる施設を洗い出し、気軽に集えて仲間づくり、生きがいづくりのできるサロンを開設・運営し、高齢者だけではなく障害のある方や子育て世代をはじめ、みんなが交流できるサロンを目指す。また、趣味の活動を楽しむ既存のグループ等とも連携を図り、相互の活動への参加促進や情報提供等の協力関係をつくるとともに、新たな活動者の発掘、育成を行う。</p> <p>2025 年・2040 年問題で懸念される介護保険制度ほか各制度につなげるための「家族機能の社会化」の一助を目指し、参加者各人の向こう三軒両隣の福祉情報を集める機会・場所として役立てる。福祉協力員の福祉センサーとしての機能向上を研く場とする。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	備考
サロン開設回数の増加 または、参加者人数増加	自治区ふれネット						月 2 回以上の開催を目指す
参加者をつうじた困窮者情報収集	自治区ふれネット サロン参加者						協力を受ける
広報、宣伝活動	自治区ふれネット 自治区会						広報誌、チラシ、ロコミ
サロン活動内容再構築	自治区ふれネット サロン参加者						内容検討
							サロン実施

重点実施項目 3		ふれあいネットワーク活動の再構築					
1 課題背景及び現状							
<p>小地域福祉活動第二次計画を策定にあたり、北九州市社協・八幡西区社協の協力を得て「ふくしのまちづくり講座」を受講し、福祉の考え方や現状の課題、将来の課題見通しを学習した。</p> <p>①九州大谷短期大学中村秀一教授からは、社会福祉の概念や官公が行う制度支援と社協が行う民間の支援の両輪が相俟って受援者の尊厳が高まる。また、超高齢社会では小さな助け合い活動等の互助には限界がくるので、システム化が必要との内容を教わった。</p> <p>② NPO 法人抱樸地域包括支援事業部 松本麻子保健師からは、介護保険制度は結果として「家族が機能している」という前提の設計となっており 2025 年・2040 年問題を考えるとき、介護保険制度から漏れないようにするには「家族機能の社会化」が必要である。また、自身が中心的に拘わられた、困窮者支援の実例発表からは、地域には介護保険制度ほか各種制度につながっていない人が隠れている。理由は、本人やその家族が制度に無知であること、心身的理由で申請手続きが困難な人がいること等であり、そのうえで、地域の福祉関係者や住民の皆さんには、そのような「福祉の困窮者」を見出す「福祉のセンサー」としての感度を高め介護保険制度ほか各種制度へつなげて欲しいとの内容であった。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>「ふれあいネットワーク」の見守り、話し合い、助け合い活動はまさしく、地域の「福祉のセンサー機能」そのものを包含した高齢者・障害のある方を支援する活動であることから今後、大量増加が懸念される核家族に起因する独居老人等を介護保険ほか各制度につなげるための「家族機能の社会化」の一助を目指し次の活動を取入れる。</p> <p>①「福祉のセンサー」としての機能向上を目指す、研修や学習の場を継続して開催する。 ・自治区ふれあいネットワークでの学習会等。</p> <p>②向う三軒両隣、知人や地縁団体をつうじて、埋もれている福祉困窮者の発見に努める。 ・サロンを始めとする地域行事等で福祉の情報を収集する。また、社協やふれあいネットワークの活動情報を発信する。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	備考
ふれあいネットワーク活動の再構築	各自地区会ふれネット 連調会委員 自治区会	→	→	→	→	→	活動見直し ふれネ活動
見守り活動内容見直し（人員構成、回数、記録等）	各自治区会ふれネット 連調会委員	→					活動見直し ふれネ活動
福祉関係者研修会	福祉協力員 社協理事役員 地縁団体	→	→	→	→	→	ふれネ世話人 社協役員会

「上津役校区小地域福祉活動第二次計画」
(あなたに伝えたい！第二次 上津役思いやりプラン)

策定の経緯

回	開催日	主な協議事項
1	令和3年10月26日	<p>「小地域福祉活動第二次計画」策定準備会議 及び 「ふくしのまちづくり講座-1」</p> <p>①「活動計画策定の必要性について」：八幡西区社会福祉協議会 久留島一暢 所長</p> <p>②「上津役校区社協の歩み」と「小地域福祉活動第一次計画策定経緯」の説明 上津役校区社会福祉協議会 久保田雅晴</p>
2	令和3年11月30日	<p>「ふくしのまちづくり講座-2」</p> <p>①「社協の福祉活動とは」講師：九州大谷短期大学 福祉学科長 中村秀一 教授</p> <p>②「抱樸型地域包括ケアとは」講師：認定NPO法人抱樸地域包括支援事業部 松本麻子 保健師</p>
3	令和3年12月21日	<p>ワークショップ</p> <p>①第一次小地域福祉活動計画の点検・評価 ②第二次小地域福祉活動計画体系図の作成</p>
4	令和4年1月24日	<p>ワークショップ</p> <p>①第二次小地域福祉活動計画体系図完成 ②重点項目を定め、5か年で実施する項目の選定</p>
5	令和4年2月22日	<p>ワークショップ</p> <p>①「小地域福祉活動第二次計画」まとめ ②今後の「ふれあいネットワーク活動」推進についての話し合い</p>
6	令和4年3月22日	<p>「ふくしのまちづくり講座-3」</p> <p>①「地域福祉活動への住民の理解と参加を進めるために」講師：北九州市立大学 地域共生教育センター 勅使河原 航 特任教員</p> <p>②「あなたに伝えたい！第二次 上津役思いやりプラン」 発表： 上津役校区社会福祉協議会 久保田雅晴</p>

I 「上津役校区小地域福祉活動第二次計画」策定委員会 委員名簿

	氏名	所属団体	役職等	備考
1	穴田 カヨ子	ふれあいネットワーク部会	民生委員	馬場自治区会
2	江頭 昭弘	ふれあいネットワーク部会		中の原自治区会
3	大岩 正	上津役校区社会福祉協議会	副会長	市瀬自治区会長
4	甲斐 節子	ふれあいネットワーク部会	民生委員	中の原自治区会
5	片岡 雅子	ふれあいネットワーク部会		小野田自治区会
6	片岡 美千代	上津役校区社会福祉協議会	副会長	小野田自治区会
7	金子 由起	上津役市民センター	館長	
8	狩野 友幸	上津役校区社会福祉協議会	事務局長	中の原自治区会
9	木村 仁美	ふれあいネットワーク部会	民生委員	上の原自治区会
10	桐木平 恵子	ふれあいネットワーク部会	民生委員	足水自治区会
11	久保田 雅晴	上津役校区社会福祉協議会 ふれあいネットワーク部会	会長 部長	策定委員長
12	小中野 淳子	ふれあいネットワーク部会		小野田自治区会
13	坂井 紀子	ふれあいネットワーク部会	民児協会長	中の原自治区会
14	清水 幸子	ふれあいネットワーク部会 しみずケアサービス	民生委員	馬場自治区会
15	白砂 稔	上津役校区社会福祉協議会	副会長	足水自治区会
16	仙崎 説子	ふれあいネットワーク部会	民生委員	上の原自治区会
17	田中 留美	ふれあいネットワーク部会		上の原自治区会
18	谷口 直樹	ふれあいネットワーク部会	世話人	馬場自治区会

	氏名	所属団体	役職等	備考
19	永住 賢二	きらめき上の原	経営室長	小規模多機能ほか老人介護施設
20	中野 フミ江	上津役校区社会福祉協議会	副会長	馬場自治区会副会長
21	長濱 清重	ふれあいネットワーク部会	世話人	市瀬自治区会
22	西村 正利	上津役校区社会福祉協議会	会計	上津役児童クラブ運営委員長
23	日浅 和恵	ふれあいネットワーク部会	世話人	上の原自治区会
24	福嶋 眞	上津役校区社会福祉協議会	副会長	上の原自治区会副会長
25	藤澤 有香	八幡在宅医療・介護連携支援センター（八幡医師会）	社会福祉士	精神保健福祉士
26	松木園 美由紀	ふれあいネットワーク部会	民生委員	小野田自治区会
27	松本 麻子	認定 NPO 法人抱樸 地域包括支援事業部	保健師	助産師・看護師・介護支援専門員
28	森 幸代	ふれあいネットワーク部会 ケアプランセンターワールド	民生委員	市瀬自治区会 介護支援専門員



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ:ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡ 恐竜)



上津役校区社会福祉協議会

〒807-0071 北九州市八幡西区上の原 2-2-16 上津役市民センター内

TEL 093-612-3568 FAX 093-612-3568

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階

TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1番 6号 ウェルとばた内

(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351